

東京の宇土ゆかりの地(2)

今月の「うと学だより」は、前回に引き続き、東京にある宇土ゆかりの場所を紹介します。

1 江戸城跡(千代田区千代田)

江戸時代に政治の中心だった江戸城は多くの歴史の舞台になりました。

元禄14年(1701)に江戸城内で赤穂藩主・浅野内匠頭が吉良上野介に刀で斬りかかった赤穂事件で、負傷した吉良の治療にあたった医者が、宇土郡栗崎村出身の栗崎道喜を祖父に持つ栗崎道有でした。

天保14年(1843)に江戸城内で開催された第12代將軍・徳川家慶の上覧相撲では、栗崎村出身で第8代横綱の不知火諾右衛門が結びの一番で東大関の劔山を破りました。勝った不知火には將軍から弓が授けられ、土俵上で豪快な弓取りを披露しました。

あまり知られていませんが、江戸城本丸があった現在の皇居東御苑には都道府県の木があり、熊本県は県木であるクスノキが植えられています。

【最寄駅】東京メトロ 大手町駅ほか



現在の常磐橋御門跡



江戸城本丸跡 (千代田区 HP から転載)

2 常盤橋御門跡(千代田区大手町)

江戸城の内堀と外堀には大小100以上の城門があり、大名や旗本が交代で各城門の警備にあたりました。常盤橋御門は宇土藩が警備した門の一つです。江戸城内堀の正門にあたる大手門に対し、常磐橋御門は外堀の正門として位置付けられた軍事上重要な門でした。

櫓などの建物は失われましたが、石垣は現在も残されています。

【最寄駅】東京メトロ 三越前駅

3 神田スクエア(千代田区神田錦町)

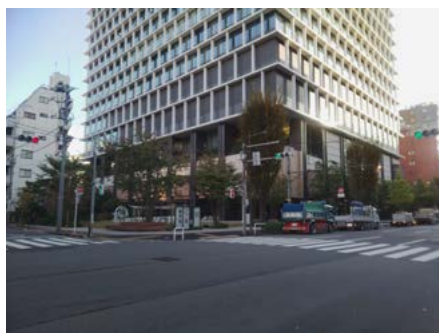
明治25年(1892)に宇土鶴城学館に初の女性教師として採用された嘉悦孝子は、衆議院議員になった父・氏房とともに翌年上京し、明治36年、神田錦町に日本初の女子専門の商業学校として私立女子商業学校(現在の嘉悦大学の前身)を創設しました。

夜間学校だった東京商業学校の昼間の空き教室を借りて授業を行いました。現在は複合型オフィスビル「神田スクエア」が建っています。

【最寄駅】東京メトロ 小川町駅

4 深大寺(調布市)

境内に宇土出身の俳人・篠原温亭(本名 英喜)の句碑があります。徳富蘇峰が設立した東京の国民新聞社に入社後、俳句の創作を始め、正岡子規や高浜虚子に師事しました。亡くなるまで

深大寺の本堂脇にたたずむ
篠原温亭の句碑

ビジネス街にある神田スクエア

のおよそ30年間で4000以上の俳句を作りました。創作のかたわら調布俳句会では会員たちの指導も行い、その縁から亡くなった翌年の昭和2年(1927)に弟子たちによって句碑(はぜ栗の落つれば拾ふ住居哉)が建立されました。

【最寄駅】京王線 調布駅